

## とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号 66-0601  
施設名 きたしば保育園  
施設所在地 西東京市芝久保町2-14-14  
法人名 社会福祉法人 聡香会

### 1.活動のテーマ

<テーマ>

五感

<テーマの設定理由>

モンテッソーリ教育には五感を刺激する様々な活動が準備されている。モンテッソーリ教育を導入している当園の特徴を活かし、「五感」をテーマとして設定する。

子ども達は日ごろから生活や活動で、見たり、聞（聴）いたり、触ったりなど、実体験から様々な感覚を無意識のうちに味わっている。それらの感覚を意識的に働かせる機会を設けて、ものを比べたり、分類したり、並べたりしながら、探求していく楽しさを味わえるようにしたい。

### 2.活動スケジュール

2025（令和7）年9月～2026（令和8）年1月

### 3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

モンテッソーリ教材・関連する自然物・発達や目的に合わせた教材など

### 4.探求活動の実践

<活動の内容>

五感を働かせるための活動を、満足するまで繰り返し経験できるようにする。具体的には、音の強弱や音階の聞き比べができる活動、重さを比較する活動、素材の違いを比較分類する活動、立体の大きさや形を比較分類する活動など。活動を通して、五感やその他の感覚も働かせられる体験を大切にする。活動後には、どのような感覚を味わえたか、保育者や友達と対話する時間を設けて、感覚の印象を頭の中で整理できるようにする。感覚の印象がイメージできてきたら、モンテッソーリ教具のみならず、お散歩先で見つけた自然物（葉、花、木の実など）や標識など環境にあふれているもの、普段から使っている持ち物、おもちゃなど、さらに様々なものを対象に五感を通して比較や分類をし、並べたり、集めたり、分けたりなど、感覚の探求をする。探究活動の様子は、写真やメモで記録をとる。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

・モンテッソーリの感覚の活動をメインで行った際には「目でよく見た！」「たくさん触って確かめた！」「何回も匂い嗅いだ！」「耳でよく聴いたよ！」など、それぞれの子が“五感”を意識して取り組めたようです。また、「音」について感じたことを訪ねた際には「みんなで一緒に叩くと、音がたくさんになったね！」「こっこの枝は大きい音が出るよ！」叩く物の太さや長さによっても音が異なる事に気が付きました！お散歩先では「黄色い葉っぱ見つけたよ！」「カナダ（国旗）の葉っぱの形みたいなの見つけた！」など、経験から様々な発見をする姿が見られました。

\*子どもの活動の様子は別紙参照

### 5.振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・感覚に特化する活動の経験を積んでいく中で、子ども達は自らの感覚を十分に使い、自身の「感覚」と「実物」とを結び付けていく事が出来るようになっていきました。「音」の活動では「ド・レ・ミ」の音と自然や環境の音とを結び付けたり、「図形」と標識や家の形を結び付けたりと自分たちの感覚を十分に用いて生き生きと活動する姿が見られました。子ども達の柔軟な考えや、自由な発想を改めて感じるきっかけとなりました。

すくわくプログラム 【五感】

## 9月：五感を働かせてみよう！

目を閉じて、種類の違う  
穀物を分類しています。  
「うーん・・・大きさが  
違う気がするなー。」

目を閉じて、粗さの違う  
サンドペーパーを触り比べています。  
「こっちの方がざらざら！」  
「これとこれは一緒かな？」  
「これはもっとざらざらしてる！」

色の濃淡を見比べて順番に  
並べています。  
「ここの色の順番が違うかも！」  
「もう一回よく見てみよう！」

匂いを嗅ぎ分けて活動しています。  
「これバニラの匂い！」  
「こっちはカレーかな？」

温度の違う瓶を触り比べています。  
「これは冷たい！」  
「こっちは温かいから違う・・・。」  
「同じ冷たさのは・・・これだ！」

図形を組み合わせて  
様々な形を作っています。  
「これとこれ合わせるの？」  
「あっ！三角が出来た！」  
「こっちの三角と大きさ一緒だ！」



ベルを鳴らして、  
音を聴き比べています。  
「これはさっきの音と違  
う……。これも違う」  
「この音同じだ！」  
「これは“ド”だね！」



目を閉じて、重さの違う板  
を両手に持ち、天秤のよう  
にして比較しています。

「うーん……。」「  
「たぶんこっちが重い！」  
「こっちのほうが軽い！」  
「これとこれは……。」「



筒を振ると中から音が響いてきます。  
音の強弱を聴き分けて、ペアを作った  
り、順番に並べたりしています。  
「こっちの方が音が大きい！」  
「これとこれは音が似てる……。」「  
「こっちは音が小さい！」



日頃から取り組んでいる個別活動から、あえて“五感”を働かせるた  
めの活動のみをピックアップして取り組む時間を設けました。  
はじめに“五感”について、みんなで考える時間を設けて、より意識  
して活動に参加できるようにしました。活動の後には、子ども達に活  
動の振り返りとして取り組みの感想を聞いたり、どの感覚を働かせた  
のかなど尋ねたりして、みんなで話す時間を設けました。「目でよく見  
た！」「たくさん触って確かめた！」「何回も匂い嗅いだ！」「耳でよく  
聴いたよ！」など、“五感”を意識して取り組めたようです。

すくわくプログラム 【五感】

## 10月：五感で自然を体感しよう！



「たくさんどんぐり拾えた！」  
「“まんまるどんぐり” 見つけたよ！」  
地面に目を向けて、たくさんの自然を見つけて発見を喜んでいました！

「ハートの葉っぱ見つけたよ！」  
好きな形を見つけると、友達や保育者に見せて自慢しています！



葉っぱの形の表に合わせて、似ている形の葉っぱを探しました。  
「この形とは少し違うな・・・。」  
「この形は似てるかも！」



「この木だけ葉っぱが赤いね！」  
「なんで赤いんだろう？」  
「前は緑だったのにね。」  
自然の変化にも子ども達は敏感です。



「コスモスがきれいだね！」  
「良いにおいするー！」  
「いろいろな色が咲いているね！」  
コスモス畑では、五感を通して様々な発見を喜んでいました。



「黄色い葉っぱ見つけたよ！」  
「カナダ（国旗）の葉っぱの形みたいなの見つけた！」  
一人ひとりが嬉しそうに発見した葉っぱを見せてくれました！



お散歩で拾ったドングリを  
分類しました！

「丸いのちょうどい！」

「こっちは細長いの！」

「松ぼっくりはどうする？」

子ども達は、ドングリや木の  
実の形や手触り、色などを、  
よく見てよく触って確かめな  
がら分類しました！



分類したドングリをさらに工夫して  
並べたり、より分けたりしています。

「次に色が濃いドングリはどれ？」

「大きさの順番に並べようよ！」

「穴が空いてるドングリを分けよう。」



お散歩で集めた葉っぱを、カードの絵と  
照らし合わせて分類しています。

「こっちの形はどうか？」

「これと少し似てるね。」

「この形は見つけれなかったね。」

友達と会話を弾ませながら取り組んでいます。

葉っぱの形に関心を持ち  
始めた子が多く、教具の  
“葉のダンス”を使って  
葉の形を見比べたり、そ  
れぞれの名称を覚えたり  
していました。緑の折り  
紙に形をなぞってハサミ  
で切って、葉のカードを  
作るお友達もいました。



10月はたくさん散歩に出掛け、五感を通して自然を体感するという  
ことをテーマに活動を進めました。実際に見て触って匂いを嗅いで、五  
感からたくさんの刺激をもらうことが出来ました。散歩先で集めた木  
の実や葉などは、五感を働かせることで、分類したり比較したりする  
ことも出来ました。活動を重ねるごとに、「次はこうやって比べてみよ  
うよ！」「こんな分け方はどうか？」など、子ども達からいろいろな  
意見や考えが出てきて、楽しそうに探求している様子が窺えました。  
これからますます秋が深まっていくなかで、自然の変化を感じられる  
ような機会を大切にしたいと考えています。その他にも、歌や踊り、  
楽器に触れる時間を増やし、これまで働かせてきた感覚以外の感覚に  
も着目して活動が展開できるようにしたいと思います。

すくわくプログラム 【五感】

11月：五感で音を感じてみよう！

小太鼓を叩く人と、その音を聞く人に分かれて、音がどこから鳴っているのか確かめてみました！「下から鳴ってる？」「上から？」

「木琴は鉄琴と違って音が小さいね！」色々な楽器の音を比べていくと、楽器ごとに音の違いを知る事が出来ます。

「この楽器は、とっても重い！！」持ち上げて叩く鉄琴“ベルリラ”は実際に持ってみるとすごく重くて驚いていました。

ウッドブロックは左右で音が違う。左は低い音で、右が高い音が鳴る！なんでだろう…？

楽器の音の他にも、床を叩く音や自分の声などにも注目してみました。「あー！って言う時の喉は、触るとなんだかビリビリする！」

リトミックの中でも、楽器を使ってリズムを取る練習をしました。「ター、アン(二分音符)は円を描くように」「ター(四分音符)は歩きながら元気に！」と音符の種類によって叩き方を変えています。



シンバルはとても大きな音が鳴るので、鳴らす前からなんだかドキドキ…!

「ねえ! これもシンバルみたい!」と持ってきたのは、おままごとの蓋!

これは大きな音が鳴らない…!? なんてだろう。とここでも疑問が生まれました。



「先生!! ここが動いてる!!」  
小太鼓の音の発生源を探していて裏を覗くと、叩く度に太鼓の後ろが揺れているのを発見!  
「なんかビリビリ(振動)もするよ!」



大太鼓を叩く子の傍にいますと、振動が伝わってきます。

「音が鳴ると耳がドーンってする!」  
叩いている部分の反対側が、音が鳴ると大きく振動する事に気が付きました。

活動が終わった後、どうして声を出すと喉が震えるのか、どうして耳で音を聞く事が出来るのか等、活動の中で疑問に思った事を図鑑で調べてみました。

「声の出し方で喉が狭くなったりしてる!」  
「見えないところってこうなってるんだ!」



11月はクリスマス会も近いという事で「色々な音を五感で感じる」という事をテーマに活動を進めました。音を聞くためには何が必要か…という問いに対して「お耳!」と一番に出てきましたが、今まで五感の事を活動毎に伝えていたからか「楽器だったら手も使う!」「じゃあ、叩く場所を見るから目も使うよね!」と問いの中にもこれまでの活動が生きていました。様々な種類の楽器を実際に鳴らしてみても、どんな風に音が出るのか、どこから音が出るのか、また楽器だけでなく自分の声は? 物の音は? と色々な音を聞いてみました。今回の五感の活動を通して、音を聞く為には体のどんな部分を使い、実際には見えない体の働きにも注目出来ました。五感を上手に使い、今後のクリスマス会への練習にも活かしていきたいと思います!

すくわくプログラム 【五感】

12月：五感を使って、演奏してみよう！

タンバリンを叩く時、カスタネットを叩く時は  
真ん中を叩く事を意識して…！  
叩く強さや場所によって、少し音が違う事にも  
気が付きました。

鈴は細い持ち手を叩くので、意識し  
ていないと上手く当たらない…！目  
と手の協応性が重要なようです。



おもちゃのチャチャチャの歌に合わせ  
て、タンバリン・カスタネット・鈴を  
叩きます！歌いながらリズムを取るの  
が少し難しいようです…！



初めて触る楽器が多いので、青さん  
はたくさんの時間を掛けて練習を行  
ないました。目で楽器の位置を見  
て、叩く強さを変えて、友達のリズ  
ムの合間に叩いて…たくさんの五感  
を使います！



楽譜通りに叩く子もいれば、和音を奏でる  
子、休符を入れながら叩く子など、それぞ  
れが色々なパートを担当しました。友達に  
合わせるという事も必要です。



あわてんぼうのサンタクロースの歌に合わせて、楽器を演奏しました。歌の歌詞に合った楽器を、順番に鳴らしていきます！



叩くリズム、強さ、歌詞に合った楽器を鳴らすという事を、歌いながら意識する事が難しかったようですが、みんな一生懸命に練習してくれました！



「みんなで一緒に叩くと、音がたくさんになったね！」「こっちの枝は大きい音が出るよ！」「木の棒の太さや長さによっても音が異なる事に気が付きました！

ハンドベルに興味を持った赤さんに、青さんが教えてくれる場面もありました！



楽器だけでなく、公園に行った際にも演奏が始まりました！切り株を太鼓に、木の棒をバチに見立てて歌いながら叩いています。「ここを叩くのと、こっちを叩くのは音が違うね！」「じゃあ一緒に叩いたら、どんな音になるのかな？」

12月はいよいよ本番！11月に色々な楽器に触ったり、音の聞こえ方に興味を持った子ども達は、楽器の演奏にも挑戦しました！演奏となると、ただ楽器を鳴らすだけでなく、ピアノの音に合わせてだったり、自分達の歌に合わせてたりと色々な難しさがあったようですが、子ども達なりに楽しく行なえたようです。楽器を演奏するという事は、一度にたくさんの五感を駆使して取り組んでいる事が分かりました。クリスマス会を通して、色々な楽器に触れる事の楽しさ、楽器を扱う時にはたくさんの五感を使っている事への理解を深める事が出来ました。楽器の演奏の派生で、戸外でも切り株を太鼓に見立てたり、空洞の木と中が詰まった木では音の出方が違う事に気が付く事が出来ました。経験を通して、子ども達の疑問に感じる力も育ってきています！

# 1月：感覚と身近な環境とをつなげてみよう



同じ大きさ、同じ色を合わせて・・・。「赤とくっつくのは赤」よく見て組み上げていきます。



「これとこれぴったり合うよ！」二つの活動を組み合わせて新たな発見をした子ども達。友だち同士で教え合う姿も見られました。

立体と平面図とを組み合わせます。「2つ合うものもあるね！」じっくり観察をすることで様々な発見があったようです。



音の違いを聞き分けています。「同じ？でもなんか違う感じがする・・・。」微妙な音の大きさをじっくり聞き分ける姿が見られました。



中身を見ずにお友達が囊から出したものと同じものを選びます。「これかな？」子ども達は触覚を研ぎ澄まし次々と選んでいました。



「この窓四角いね！」お仕事を終えた後の赤さんたちから出てきた発見は、環境のかなの様々な形を感覚としてとらえたものでした！



「このお砂場丸いかたちしてる!」「円形だ!」子ども達は環境の中から様々な形も見つけたようです!



日の当たっている窓と当たっていない窓を触り「こっちはあったかい!」「さっきのところは冷たかったね」場所よりの温度の差にも気づいたようです。



「ここってざらざらしてるよね?」コンクリートの感触を確かめながら友達と確認をする子ども達。「じゃあつるつるもあるのかな?」子ども達の探求心は尽きません!

「いいにおいがする!」「他のお花においするのかな?」嗅覚もしっかりと活用しています!「あんまりお花咲いてないけどまたあったらかいでみよう!」子ども達はいつでも前向きです!



フリカエリ

9月にも一度行った“五感”を働かせるための活動のみをピックアップして取り組む時間を改めてもう一度設けてみました。その後「みんなの(身の)回りにはどんなものがあるかな?みんなの五感を使って探してみよう」と普段生活している保育室や、よく行くお散歩先で【五感を使った探検】を行いました。振り返りの中では「つるつるした物とざらざらの物があった!」「色が違う葉っぱがあったよ!」「触ってみたらあったかいところと冷たいところがあった!」など五感をフル活用しながら様々な発見が出来たようです。引き続き子ども達の発見に耳を傾けていきたいと思ひます。